

平成29年度 事業計画について

平成 29 年 3 月 1 日
西日本電信電話株式会社

平成29年度の取組みについて

- 情報通信市場は、ブロードバンド化の進展やスマートデバイス・ソーシャルメディア等の普及による利用形態の多様化が更に進むとともに、AI、ビッグデータ、IoTの活用などもあり、市場構造が急速に変化してきている。
- NTT西日本は、“光”の特性を活かしたオープンなネットワークの提供やWi-Fiプラットフォームの拡充により、お客様が“より快適で安心・安全に”、“いつでもどこでも何にでも”つながるネットワーク環境を実現するとともに、光サービスの利用拡大を通じて新たなライフスタイルの創造や課題解決を図り、ICT社会の発展に貢献していく。
- 平成29年度の事業経営にあたっては、ビジネス向けサービスの展開や光コラボレーションモデルの提供及びアライアンスの推進による新たなサービスの創造により、お客様の利便性向上に努めるとともに、地域密着型の営業活動を通じて、社会の抱える課題解決に向けたICTソリューション提案の推進、サービス・品質の向上に努め、地域の発展に貢献する。
あわせて、サービスの安定的提供の確保、設備事故の未然防止、大規模災害を想定した設備対策の強化、災害等有事の際の復旧や被災者及び関係者への多様な通信手段の提供等により、安心・安全な社会の実現に貢献する。
- 上記取組みにより安定した事業の発展を期するとともに、これらの施策の成果をお客様、地域社会、また持株会社を通じて株主の皆様に還元できるように努めることとする。

サービス計画・設備投資計画

■サービス計画（純増数）

項目	単位	H28 業績予想	H29 計画	対前年増減
フレッツ光 (光コラボレーションモデルを含む)	万契約	30	30	±0
固定電話(加入電話+ISDN※)	万加入	▲80	▲67	+13

※:ISDNについては、INSネット64とINSネット1500の合算値。(INSネット1500はINSネット64(10倍)換算している)

<参考>年度末契約数

フレッツ光	万契約	889	919	+30
フレッツ光	万契約	558	443	▲115
コラボ光	万契約	331	476	+145

平成28年度のフレッツ光からコラボ光への転用数(業績予想)は120万回線、平成29年度は100万回線を計画している。

■設備投資計画

項目	単位	H28 業績予想	H29 計画	対前年増減
設備投資額	億円	2,750	2,600	▲150

収支計画

(単位:億円)

項目	H28 業績予想	H29 計画	対前年 増減
営業収益	14,810	14,420	▲390
IP系収入	6,950	6,860	▲90
音声伝送収入(IP系除く)	3,940	3,690	▲250
その他(専用、附帯事業 等)	3,920	3,870	▲50
営業費用	13,960	13,520	▲440
人件費	810	740	▲70
経費	9,020	8,780	▲240
減価償却費 等	4,130	4,000	▲130
営業利益	850	900	+50
営業外損益	▲50	▲50	±0
経常利益	800	850	+50

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。